

第28回 石巻地域合併協議会議事録

開催日 平成17年3月14日(月)

場 所 石巻ルネッサンス館 マルチ交流ホール

第28回 石巻地域合併協議会 会議録

開催日 平成17年3月14日(月)
 会場 石巻ルネッサンス館 1階 マルチ交流ホール
 開会 午前 9時30分
 閉会 午前11時10分

出席者

・ 会長

土井 喜美夫

・ 委員

松川 昭

阿部 純孝

武者 賢三

太田 実

神山 庄一郎

千葉 貞雄

渡邊 養一

小出 正夫

山下 壽郎

高橋 左文

藤本 忠夫

山下 三和子

橋浦 清元

三浦 總吉

阿部 仁州

大橋 邦雄

今井 多貴子

平塚 義兼

若山 憲彦

大西 條一

酒井 一郎

高橋 冠

佐藤 健児

佐藤 功

武山 吉夫

千葉 五郎

武山 松義

木村 富士男

渥美 義孝

遠藤 銀一

阿部 敏男

萬代 壽一

石垣 仁一

松田 孝志

・ 幹事長

若山 俊治

・ 副幹事長

佐藤 文志

本木 忠義

欠席者

・ 委員

齋藤 賢仁

生出 太一郎

事務局職員

木村 耕二

植松 博史

鈴木 文也

石川 文彦

木村 義則

多田 恭子

斎藤 峰好

阿部 浩樹

遠藤 正啓

佐々木 康夫

阿部 陽一

高橋 真

大塚 智也

菅原 由行

高橋 修司

高橋 晃

及川 武彦

佐々木 道幸

佐野 進

説明要員

大槻 英夫

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 議 事

(1) 報告事項

報告第83号 新市における非常勤の特別職等の報酬について

報告第84号 新市の例規について

報告第85号 事務事業の調整結果について

報告第86号 新市の平成17年度予算について

報告第87号 平成16年度 石巻地域合併協議会事業実施状況及び歳入歳出決算見込
みについて

(2) その他

市長職務執行者の行う主な職務について

5 その他

6 閉 会

1. 開会

司会 開会に先立ちまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料は、事前に配布いたしております第28回協議会会議資料と本日配布いたしましたくらしの便利帳及び第27回協議会会議録でございます。

定刻でございますので、ただいまから第28回石巻地域合併協議会を開会いたします。

会議でございますが、委員総数37名のうち欠席の報告がございましたのは2名でございます。従いまして、本日の会議には35名の方の御出席をいただいておりますので、協議会規約第10条第1項の規定により会議が成立いたしておりますことを御報告申し上げます。

2. 会長あいさつ

司会 それでは、当協議会の会長であります土井石巻市長から御挨拶を申し上げます。

土井会長 どうも皆さんおはようございます。第28回石巻地域合併協議会を開催するにあたりまして一言御挨拶を申し上げます。

この協議会もいよいよ最後となりますが、委員の皆様にはいろいろとお忙しい中、本日の会議に御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

新しくスタートいたします新「石巻市」誕生まであと17日となりますが、委員の皆様には一昨年7月に合併協議会を設置して以来、本日までの長きにわたり地域の将来を見据えた熱心かつ真摯な協議をいただきまして、会長として心から感謝を申し上げます。

本日は締めくくりの協議としまして、新市施行時の例規や予算あるいは市長職務執行者の主な職務、そして今年度の合併協議会の事業及び決算見込みの報告などを協議いただくことにしておりますので、よろしく審議いただきますようお願いを申し上げます。

終わりに、これまでの合併協議に関します委員の皆様の御支援、御協力、そして御尽力に対しまして重ねて心から感謝を申し上げます。最後の協議会の開催にあたりましての挨拶とさせていただきます。

それではよろしく願いいたします。

3. 会議録署名委員の指名

司会 次に、会議録署名委員の指名でございますが、指名は議長が行うこととなっておりますので、協議会規約第10条第2項の規定により、これからの進行を土井会長にお願いいたします。

土井議長 それでは暫時の間、議長を務めさせていただきます。

はじめに、次第3の会議録署名委員の指名でございますが、会議運営規程第7条第2項の規定に基づき、お2人を指名させていただきます。

河南町の三浦總吉委員、石巻市の武者賢三委員を指名いたしますのでよろしくお願いいいたします。

4. 議事

(1) 報告事項

- ・報告第83号 新市における非常勤の特別職等の報酬について

土井議長 それでは、次第4の議事に入らせていただきます。

はじめに(1)の報告事項ですが、報告第83号 新市における非常勤の特別職等の報酬についてを総務専門部会長に報告をさせます。

大槻総務専門部会長 それでは、報告第83号につきまして御説明をさせていただきます。

資料1ページから9ページを御覧いただきたいと思えます。

御提案の非常勤特別職につきましては、医師会等の関係を除きます顧問、調査員、嘱託員等で19の職種と、医師会等の関係が20の職種で合計39の職種でございます。これらの調整の基本的考え方といたしましては、各市町で同様の職種について統一することを基本としてございますけれども、各市町のこれまでの経過経緯と職務の内容等整理を要するものなどがございまして、合併時までに調整が困難な行政委員等をはじめといたしまして20の職種については現行のとおり新市に引き継ぎまして、新市において調整をするということにしたものでございます。ただし、2ページの下から5行目でございますが、幼稚園長の欄でございます。河北町につきましてはこれまで小学校長が兼任でございまして、この4月1日から専任の園長を配置することといたしまして、従来の年額報酬20万1,300円を月額16万円とするものでございます。なお、申し上げました39の職種、1件ごとの説明につきましては省略をさせていただきますので御了承いただきたいと思えます。なお、本件と関連いたします市長等三役の特別職あるいは教育長、非常勤の各行政委員会の委員でありますとか各審査会、審議会の委

員等につきましては、本年1月27日開催の第25回協議会で決定しているところでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

土井議長 ただいまの報告について、何か御質問はございませんか。

(「なし」という声あり)

・報告第84号 新市の例規について

土井議長 ないようですので、次に報告第84号 新市の例規についてを新市例規作成プロジェクトチーム管理者でございます総務専門部会長から報告をさせます。

大槻総務専門部会長 それでは、報告第84号 新市の例規についてでございますが、10ページから23ページお聞きいただきたいと思います。

本件につきましては、前回第27回協議会で御説明を申し上げましたとおり、既に確認されております各種事務事業等の調整内容に基づきまして、大きく3つに区分し、次のとおり整理をいたしましたものでございます。

11ページにその詳細を載せてございます。

まず1つ目でございますが、1、即時制定し施行する例規というふうでございますが、これも前回御説明をしたとおりでございます。それで条例が279件、規則が312件、告示等これは規程、要綱等でございますが414件、合計で1,005件となっております。次に、2の一定の地域に暫定的に施行する例規でございますが、これにつきましては、新市におきまして全市的に適用させるかどうか、一部の地域に適用させるかどうかというのも含めまして政策的判断を要するものでございまして、各町の実状に応じてそのまま新市に引き継ぐことといたしまして、市長職務執行者が告示を行い暫定的に施行するものでございます。この件数が条例が5件、規則が10件、告示等の規程、要綱でございますが4件の計19件となっております。次に、3の逐次制定し施行する例規でございます。これにつきましては、新市長の政策判断にかかるものでございまして、市議会の議決を得て制定する条例でございます。これは条例が13件、規則が24件、規程要綱等の告示行為でございますが26件の63件となっております。以上、全体で条例が297件、規則が346件、告示等が444件となりまして、全体で1,087件となるものでございます。

なお、この例規作成プロジェクトチームの実質の作業でございますが既に終了してございまして、今月下旬にもう1回プロジェクトの会議を開催いたしまして最終確認

を行うことといたしてございます。

12ページをお開きいただきたいと思います。この12ページにつきましては、新市の例規集の目次のイメージでございます。こういった形で目次というふうになってまいりますので、イメージとしてとらえていただきたいと思います。第1編の総規からはじまりまして第15編その他、暫定例規まででございます。

次に、13ページから23ページでございますが、これにつきましては各条例のみでございますが、条例297件のタイトルを例規集掲載順に列記したものでございますので御参照お願いしたいと思います。

以上でございます。よろしくお願いたします。

土井議長 ただいまの報告について、何か御質はございませんか。

(「なし」という声あり)

・報告第85号 事務事業の調整結果について

土井議長 それでは次に、報告第85号 事務事業の調整結果についてを事務局から報告をさせます。

鈴木調整担当次長 それでは、資料24ページ、25ページをお開きいただきたいと思ます。事務事業の調整結果につきまして御報告申し上げます。

これまで協定項目の御協議、それから合併時まで調整するとしていたものの御報告を前回の協議会までさせていただきました。今回はその総括ということで、最終的な事務事業の調整結果につきまして一覧表で御報告申し上げたいと思ます。

まず9つの専門部会、それから31の分科会におきましては、これまで平成17年4月1日の合併に向けまして、構成市町のさまざまな事務事業の摺り合わせあるいは一元化に向けて調整を進めてまいりました。その項目数は、当初1,911項目にものぼると報告させていただいていたところでございますけれども、その後、項目の整理、統合あるいは追加などを行いまして、最終的には延べ2,084項目に達したところでございます。そのうち合併にかかる基本的事項、合併特例法に特例の定められる事項、そして住民生活に深く関わる59項目につきましては協定項目として整理いたしまして協議会で御審議いただいたところでございます。また、協定項目の審議の中では、個別の重要項目につきましては協定項目の内訳項目として御審議いただいております、その数は延べ965項目となっております。差し引き1,119項目につきましては主に内部事務事業が主となってございますけれども、今般それらの調整も完了いたしましたの

で御報告いたすものでございます。これら合併協議の成果につきましては、事務局で一本化いたしまして新市の方に引き継ぎたいと思います。

冊子の方につきましてはかなりの冊子となっておりますので、本日は一覧表でのみの御報告とさせていただきます。

報告は以上でございます。

土井議長 ただいまの報告について、何か御質問はございませんか。

(「なし」という声あり)

・報告第86号 新市の平成17年度予算について

土井議長 なしということでございますので、それでは次に、報告第86号 新市の平成17年度予算についてを財務部専門部会長から報告をさせます。

大槻総務専門部会長 財務部会長であります石巻市の財政課長が、暫定予算追い込み時期でございまして今日出席できかねましたので、代わりまして私から御説明をさせていただきます。

報告第86号 新市の平成17年度予算でございますが、26ページから29ページお聞きいただきたいと思えます。

まず27ページ御覧いただきたいと思えますが、委員の皆様方、既に御承知のとおり1の暫定予算についてでございますが、これにつきましては の地方自治法施行令第2条の規定、職務執行者は、予算が議会の議決を経て成立するまでの間、必要な収支につき暫定予算を調整し、これを執行する、というのが地方自治法施行令第2条の規定でございます。これに基づきまして、合併に伴う暫定予算を編成するというものでございます。次に、 でございますが、この暫定予算は申し上げましたように、4月1日付けで市長職務執行者により専決処分をするというものでございます。 の、暫定予算については云々でございますが、これは新「石巻市」の議会及び新市長の誕生後における市議会において本予算が議決するまでの間の「つなぎ予算」であるということでございます。この 、 、 につきましては、申し上げましたように地方自治法施行令第2条の規定を準用しているというものでございます。 でございますが、そういった暫定予算から平成17年6月を予定してございますが市議会第1回定例会、これには合併により相当量の審議事項が予想されますことから、日程的には6月中旬から7月中旬くらいに第1回の定例会というふうになるものと予想してございます。暫定予算の期間を、4月1日からこの議会議決までの間でございますが4か月間、7

月までの4か月間を暫定予算というふうにしてございます。でございますが、申し上げましたように暫定予算は本予算が議決されるまでの間の「つなぎ予算」でございますことから、自治体運営にかかる最小限の経費を編成することが基本ですというものでございます。この から を基本といたしまして、 の編成される予算の内容でございますが、1つは義務的経費、これは人件費が主になってまいります。あとは生活保護費、保育所管理費、国保医療給付費等々でございます。その次に、平成16年度以前に設定されました債務負担行為や継続費にかかる経費の措置でございます。3つ目といたしましては、暫定期間中に必要とされる経費というのがこの暫定予算に含まれるものというふうに御理解いただきたいと思います。次に、大きな2つ目の本予算でございますが、本予算につきましては、平成17年度の通年ベースで編成されることとなってまいります。従いまして、暫定予算につきましては本予算が成立したときには、その中に吸収されるため自動的に消滅されるものでございます。の本予算の編成でございますが、経常的経費及び投資的経費の通年ベースでの組立となってまいります。で本予算につきましては、政策的経費について新市の市長の査定を経まして、新市議会の審議により決定されることとなりますので、平成17年市議会6月定例会に付議することとなってまいります。

3の予算編成作業でございますが、28ページをお開きいただきたいと思います。上の段でございますが、これが通年ベースでの予算編成スケジュールでございます。通年ベースでございますと、例年9月の定例市議会終了後でございますが10月に予算編成説明会を行いまして、11月には各課からの予算要求書の締め切りになってまいります。そして財政課長を中心としたヒヤリングを12月いっぱい行いまして、あわせて財政課長の査定と、この課長査定が財政課長の査定でございます。年が明けまして、総務部長査定をしまして市長査定と、そして各課への査定通知をし、2月定例会第1回定例会におきまして議決というふうなのが通常のベースでございます。今回の暫定予算でございますが、この下の表でございます。昨年の12月2日に説明会を行いまして、そして12月24日要求締め切りというふうにしてございましたが、いろいろ合併の関係もございまして、また市と6町との関係もありまして、それぞれの予算編成の内容が異なっていたというものもございまして、実際は1月中旬以降までずれ込んでいたのが現実でございます。そして各課ヒヤリング、各役場の各課長の方々も入っていただきながら本庁の課長とともにヒヤリングを行なってまいりました。そして、2月下旬

から課長査定、これ財政課長でございますが実質これも3月にずれ込んでございます。そして、今週には市の総務部長査定を行う予定でございます。そして、来週あるいは再来週の早い時期に、この暫定予算の査定通知を各課そして各役場に申し上げる予定でございます。それで、5月になりましてから本予算になってまいります。新市長のもとで市長査定を行いまして、そして6月、7月先程申し上げました予定で本予算の議決をいただくというスケジュールになってまいります。また、申し訳ございませんが27ページをお戻りいただきたいと思っております。

4番目の各種会計の設定についてでございますが、新市における各種会計の設定でございます。ここで訂正をお願いしたいのですが、別紙「平成17年度予算・会計設定一覧」となっておりますが、これを「平成17年度各種会計設定(予算)一覧」に改めていただきたいと思っております。それで29ページお開きいただきたいと思っております。ただいま訂正いただきましたのが29ページのタイトルでございます。これ差し替えした関係上、こういった形で改めてございます。それで、1が石巻市一般会計というふうになってまいります。2から15まででございますが、石巻市土地取得特別会計から15の石巻市診療所事業特別会計まで特別会計が14件というふうになってまいります。備考欄に各市町の関係団体入れてございます。これ現在でございます。そして16に公営企業会計となっておりますが、石巻市病院事業会計というふうになってまいりまして、一般会計のほか特別会計が14会計、そして公営企業会計が1会計というのが新予算の枠組みになってまいります。

以上でございます。よろしくお願ひいたします。

土井議長 ただいまの報告について、何か御質問はございませんか。

(「なし」という声あり)

・報告第87号 平成16年度 石巻地域合併協議会事業実施状況及び歳入歳出決算見込みについて

土井議長 なしということでございますので、次に報告第87号 平成16年度 石巻地域合併協議会事業実施状況及び歳入歳出決算見込みについてを事務局から報告をさせます。

植松総務担当次長 それでは、資料の30ページ、31ページをお開きいただきたいと思っております。

はじめに、平成16年度の石巻地域合併協議会の主な事業実施状況を御説明いたしま

すので、31ページを御覧いただきたいと思います。まず、大きな1番で会議の開催等で、(1)が協議会の開催。平成16年度としては15回協議会を開催させていただきました。トータルでは28回となります。合併協定項目の今年度分の協議は28項目ということと、調印後につきましては、合併時まで調整の必要な39項目についての協議をいただきました。それから、(2)で首長会の開催。これは暫定行政委員会の委員の選出等を協議してございます。(3)で幹事会の開催。幹事会は全部で2年間で26回開催いたしております。(4)といたしましては、合併協定調印と県知事への申請ということで、調印式が10月30日、知事への申請が11月24日、1月17日には総務大臣告示が行われました。大きな2番といたしましては、新市まちづくり計画の策定ということで、(1)が新市まちづくり計画の策定と、(2)新市まちづくり計画書及びダイジェスト版の作成を行っております。これにつきましては、合併調印式のときの配布と、ダイジェスト版につきましては住民説明会等全戸配布のところに付けてございます。大きな3番の、事務事業等の一元化でございますが、これは先程報告ありましたとおり約2,000項目におよぶ事業調整につきまして幹事会、各専門部会、各分科会の協議を行ってございます。それから、一番下の大きな4番でございますが、住民への情報提供及び住民意向の把握ということで、(1)住民説明会の開催。10月2日から13日まで29会場で開催いたしまして、1,700人を超える参加がございました。

お聞きいただきまして32ページでございますが、(2)住民説明会資料の作成及び配布ということで、説明会には合併協定項目のすべての内容とそれから新市まちづくり計画ダイジェスト版これを6万6,000部発行いたしまして、構成市町の全戸配布とそれから説明会への配布ということにさせていただきました。それから、(3)は協議会ホームページの開設でございます。それから、大きな5番といたしまして、合併準備ということで、(1)が新市例規の作成、(2)電算システムの統合、(3)予算の調製、それから(4)組織の整備、(5)開庁の準備ということで、これにつきましてはそれぞれ現在進行形でございます。大きな6番で、住民周知ということで3つの項目でまとめさせていただきましたが、まず(1)で行政サービス周知用冊子の発行ということで、本日皆様方のお手元に配布してございます「くらしの便利帳」ということで、6万5,000部印刷いたしております。これは構成市町の全世帯へ配布ということで、3月11日の石巻市を皮切りにそれぞれ各町の行政委員、行政区長さん方をとおして配布する手はずになってございます。それから、(2)の合併PR看板等の設置ということで、

これにつきましては構成市町との協力のもとに市内14か所、それから6町の役場等に看板、懸垂幕及び横断幕、それからPRポスターの製作を行いまして、1市6町の主要個所に貼っていただいております。(3)で新聞広告の掲載でございまして、現在河北新報が3月31日に合併特集号を組むということで、こちらの方に新市の広告を掲載する予定となっております。主な事業計画につきましては以上でございます。

続きまして、33ページ以降御覧いただきたいんですが、当協議会の歳入歳出決算見込額調ということで、現時点におきます見込額としてここに掲載させていただきました。実際には、3月末まで経費の発生が行われますので多少数値がずれると思いますが、現時点で把握した見込みを御説明させていただきます。

まず33ページが歳入でございます。歳入につきましては、構成市町の負担金と県からいただきます交付金、補助金でございます。それから、協議会の平成15年度の前年度繰越金、それから1市5町の合併協議会からの収入ということで諸収入ということで、ほとんどこれらにつきましては収入済みでございますが、通帳のいわゆる預金利子につきましてはまだ確定いたしませんので、トータルといたしましては収入見込みになります。表の説明は、まず款、項、目、当初予算額、補正予算額それから予算現額、調定額、それから各節ごとの区分、予算現額、収入済額、収入未済額、説明という表になってございまして、歳入合計のトータルの予算現額につきましては4,087万9,000円でございます。それから、収入済額いわゆる収入見込額につきましては4,087万9,194円ございまして、194円ほど予算をオーバーして収入がございまして、

続きまして、34ページをお開きいただきたいと思っております。これは歳出でございます。表の見方は、款、項、目と当初予算額、補正予算額、それから予備費充用及び流用増減額とありますが、予備費の充用はございまして流用の内容でございます。それで予算現額とありまして、節の区分、予算現額、支出見込額、不用額、説明というふうになってございます。大きな款の1の運営費につきましては、まず1項1目で会議費、これにつきましては予算現額が413万9,619円ございまして、支出見込額が406万8,112円、不用額が7万1,507円となります。以下、各1節から14節までの明細をつけておりますが内容は省略させていただきたいと思っております。主に協議会の会議の経費です。

35ページ以降が事務費でございます。事務費の予算現額の総額が2,436万4,849円ということで、支出見込額が2,430万1,819円、不用額が6万3,030円の見込でござい

す。これにつきましても、3の職員手当等から各節ごとの明細をつけてございますので内容の説明は省略させていただきます。

36ページをお開きいただきたいと思いますが、2の事業費、1の事業推進費になります。これにつきましては、予算現額が1,217万8,532円ということで支出見込額が1,217万8,532円となっております。これにつきましては主に住民説明会等の配布資料、あと今回の「くらしの便利帳」これらの作成の経費が主なものとなっております。

それから、38ページをお開きいただきたいと思いますが、ここには歳出合計ということで、歳入と同じように予算現額が4,087万9,000円の予算現額になります。支出見込額が4,054万8,463円。歳入と歳出の差し引き額で表の下に書いてございますが、収支ということところで33万731円ということで現時点での残見込でございます。この残につきましては、新市へ引き継ぐということになります。その収支の下に支払見込額と書いてございますが、主にNTT関係の経費でございます、これは4月にならないと請求がこない分でございます。従いまして、これは新市の担当課に債務として支払いを引き継ぐこととなります。今のところ概算では6万3,000円くらいかなということところで、参考までに数字をここに書かせていただきました。

なお、監査委員の方々につきましては3月30日の午後に帳簿等の監査を行っていただく予定となっておりますので、あわせて御報告申し上げます。

協議会の事業内容、それから歳入歳出の決算見込につきましては以上でございますのでよろしくお願いいたします。

土井議長 ただいまの報告について、何か御質問はございませんか。

(「なし」という声あり)

土井議長 ないようですので、これで報告事項は終わらせていただきます。

(2) その他

市長職務執行者の行う主な職務について

土井議長 次に、議事の(2)その他に移ります。

市長職務執行者の行う主な職務についてを事務局から説明をさせます。

木村事務局長 それでは39ページお開きいただきます。

市長の職務執行者の選任につきましては、去る2月10日の第26回の協議会におきまして山下雄勝町長とすることで御承認をいただいているところでありまして、その主

な職務につきましてここに触れさせていただくものでございます。

まず、1に市長職務執行者の職務の基本原則といたしまして、御案内のように「市長職務執行者」は、『首長の職務権限の執行』を行います。その職務はあくまで暫定にすぎないものでありますことから、執行にあたりましては、必要最小限度の職務のみとされているところでございます。2に、具体的な職務内容に記載されておりますように(1)から(7)まででございます。まず、(1)の開庁式の執行につきましては、後程実施計画案で御説明させていただきますが、4月1日に開庁式を執り行っていたくものでございます。(2)の長の事務引継ぎは、同様に4月1日に、後程職務執行者の日程で触れさせていただきますが、合併関係市町の方々から事務引継ぎを受けるものでございます。(3)の行政委員会委員等の特別職の選任につきましては、新市発足に必要な特別職につきましては、市長の就任を待たずに、合併時または合併後に「市長職務執行者」により選任の手続きを行うもので、選任する主な特別職は、の暫定教育委員会の委員、の暫定固定資産評価審査委員会の委員、の農業委員会の1号委員、の消防団長、交通安全指導員、行政委員・行政区長等、の奨学生選考委員会とかあるいは交通安全対策委員会の委員でございますが、これらの委員の方々の選任を行っていただくものでございます。(4)の一般職の職員の任命では、一般職の職員及び新規採用職員に対しての任命辞令の交付と、合併時に「収入役」が不在となるため、一般職員のうちから「収入役職務代理者」の選任を行うものでございます。(5)の暫定予算の調製及び執行では、必要な収支につきましては『暫定予算』を調製し、これを執行するもので、『暫定予算』は専決処分によりまして成立させ、最初の議会に報告し、承認を求めるものでございます。(6)の条例及び規則等の制定では、市政執行上の空白期間が許されないものや組織等に関する『条例』につきましては、合併時に「市長職務執行者」が即時制定し、施行するもので、これらの『条例』は専決処分により成立させ、最初の議会に報告し、承認を求めます。また、「市長」の権限に属する事項の『規則・規程等』を制定し、施行させるものでございます。また、新市において一定の地域に暫定的に必要となる『条例・規則』につきましては、告示行為により施行させるものでございます。(7)の予算及び条例以外の主な事務手続きといたしましては、一部事務組合等の加入、町(字)の名称変更、公共施設の相互利用、指定金融機関の指定などにつきましては、専決処分により事務手続きを行うほか、合併時に必要な決裁を行うものでございます。

以上が、主な職務として執り行っていただくものでございます。

40ページをお開きいただきます。

市長の職務執行者の職務に基づき、4月1日に主な職務ごとのスケジュール表をここに整理したものでございます。まず、(1)の開庁式から(9)の消防団長・交通安全指導隊長等辞令交付まで、現時点で考えられるものをこちらに職務といたしまして記載させていただいております。なお(2)の、開庁式に引き続き事務引継ぎを、8時30分から9時まで市長室で、1市6町の首長の方々から職務執行者へ事務の引継ぎを予定してございますのでよろしくお願いいたします。

次に41ページ、こちらには新市本庁及び総合支所の開庁式の実施計画(案)につきまして記載させていただいておりますので、説明させていただきます。まず、1の日時を、平成17年4月1日、金曜日の8時から本庁、総合支所、同時に開催を予定しているところでございます。2の会場は、本庁、総合支所とも正面玄関前で行いたいと考えてございます。3の本庁開庁式の、(1)の式次第でございますが、開式にはじまりまして市旗掲揚、職務執行者式辞、来賓祝辞、来賓紹介、テープカット・くす玉割、閉式としているところでございます。(2)の案内及び参加者を、県知事、地元選出国會議員及び県議會議員、それと旧市町首長・議長、職務執行者・本庁職員、一般市民など予定しているところでございます。次に、4の総合支所開庁式の(1)式次第につきましては、開式にはじまりまして総合支所長あいさつ、総合支所銘板掲示、閉式までとしてございます。(2)の参加者につきましては、支所職員、一般市民などを予定しているところでございまして、この案で現在準備を進めているところでございます。

以上御説明といたします。

土井議長 ただいま事務局より説明がありましたが、御質問はございませんか。

(神山委員 挙手)

土井議長 はい、神山委員。

神山委員 この中で1つだけ聞いておきたいのは、新市になって即活動しなければならぬ選挙管理委員会の具体的な選任と、旧市町選挙管理委員会との兼ね合いなどどのように具体的になるのか、その点詳細に説明願いたい。

木村事務局長 選挙管理委員会につきましては、現在1市6町で28名の委員がいるわけでございますが、4月1日に委員会を開催いたしまして、その中で新しい委員の互選によりまして4名の委員が暫定選挙管理委員会として発足するものでございます。そ

の後に、選挙会そういうものを実施していただくというふうな形になります。

土井議長 そのほか、何かございませんか。

(「なし」という声あり)

土井議長 ないようですので、ここで、ただいまの説明の中にありました合併時の4月1日に職務執行者が選任する行政委員会の委員について、首長会議において決定しておりますので発表させていただきます。

これから委員名簿を配布し、事務局に説明をさせます。

(資料配布)

土井議長 事務局の方から説明させます。

木村事務局長 暫定行政委員会等の委員の選任につきましては、去る2月24日の首長会議におきまして承認をいただいておりますので、こちらに委員会の名簿を配布させていただきました。それに基づきまして発表させていただきます。

まず、1の暫定教育委員会の委員でございますが、石巻市から松田孝子さん、阿部和夫さん、河南町から齊藤龍雄さん、桃生町から大和昭彦さん、牡鹿町から加藤進さんの5名でございます。それから、2の暫定固定資産評価審査委員会の委員につきましては、石巻市から手島克彦さん、須田佑さん、石川寛敏さん、河北町からは武山市彌さん、高橋健也さん、北上町から倉本芳充さんの6名でございます。それから、3の農業委員会委員(1号委員)、選任による委員でございますが、こちらにつきましてはいしのまき農業協同組合理事の黒須慶弘さん、それから石巻地方農業共済組合理事の亀山剛さん、それから桃生郡北方土地改良区理事の千葉晋作さんで、各々推薦団体から推薦をいただきました3名でございます。なお、4の暫定選挙管理委員会委員につきましては、先程お答えいたしました、4月1日開催の会議におきまして、旧市町の委員28名の互選により4名の暫定委員が選任されるものでございます。

以上、報告させていただきました。

土井議長 ただいま事務局より説明がありましたが、御質問はございませんか。

(「なし」という声あり)

5. その他

土井議長 以上で、本日予定いたしました議事はすべて終了となります。

当協議会の会議につきましては、本日をもって最後となりますので、委員の皆様方

から一言ずつこれまでの御感想や新市への思いなど御発言をいただきたいと思いますが、その前に御質問や御意見等があればお願いしたいと思います。

(三浦委員 挙手)

土井議長 はい、三浦委員。

三浦委員 その他のところで申し上げるべきだったんだなと思いますけれども、合併して一番の関心事の的は選挙だと思うんですね。これは選挙管理委員会を新しく設置したと、そうでなければ決定はされないんだというふうなことで、そこは分かるんですけども、一応予定ということではっきりしておいた方が皆のためにいいんじゃないのかなと思うんですけども、いかがなものですかね。これはあくまで予定ですけども。

木村事務局長 ただいま選挙の日程ということでございますが、先程暫定選挙管理委員会の委員の選任につきまして触れさせていただいたわけでございますが、事務局といたしましてはあくまでも4月1日に開催されます会議におきましてお決めいただくものと理解してございます。

なお、選挙期日につきましては50日以内というところでございます。それからもう1つ、作業というふうな工程もその辺には十分留意していかなければならないもの、さらには空白期間をできるだけ設けないというところを総合的に加味いたしまして日程は決まるものと思いますし、新聞にもいろいろ記載されているところでございますので、事務局としてはこの辺御勘弁いただきたいと思います。

土井議長 そのほか、何かございませんか。

(「なし」という声あり)

土井議長 それではないので、ここで皆様方から一言ずつ御発言をお願いしたいと思います。それでは、私の方からこういう順番で指名をさせていただきます。

まず、民間委員の皆さんに最初お願いをし、次に議員それから首長というふうに右側の方からずっと指名させていただきますので、よろしくお願いいたしたいと思います。

(「持ち時間は」という声あり)

土井議長 持ち時間は30秒から1分程度でお願いいたします。

それでは、まず石巻市の武者委員お願いいたします。

武者委員 合併協議会の諸会議も本会議が28回、その他小委員会等含めまして先程の報告では41回というふうに受け止めたわけでございますが、非常に長時間、長期間にわ

たりましていろいろ御審議されましたが、最初私心配したのは、各町の方々あるいはその住民の方々がその合併によって非常に冷遇的な結果になるであろうという不安感があったと思います。従いまして、いろいろ合併協議もギクシャクするのではないかと地域エゴが出たりしてそう心配したんですが、合併協議会の事務局のいろいろな調整の問題あるいは各市町を含めた幹事会、あるいは分科会等の非常に精力的な協議事項の調整なりそういったようなことが順調に進みまして、心配されたそういったような懸念もなくここにめでたく4月1日誕生ということになりまして、それこそ案ずるより産むが易しというような感じがいたしております。そういうことで結果論でございますが、非常に順調に経過されたというように私個人的には評価するものでございます。

それから、これからの問題でございますが、1市6町が合併いたしましてもやはりすぐに新市民の意識なりあるいは自覚というものがでてこないだろうと思います。そういうことでございまして、時間が長くなるかもしれませんがもう少しお待ちいただきたいと思います。そういうことでございまして、このいろいろ懸念される問題を払拭するからには、やはり新市が誕生してからより早くその払拭をするような、新市におけるいろんな諸計画の策定なり、あるいは合併して良かったという旧町民があるいは市民も含めまして実感できるような政策を進めていただきたいということを念願するものでございます。

さらに、先程三浦委員から選挙の話少し触れられたんですが、そういったような地域にいろいろ行政の格差があっては困るという心配があると思いますが、それらを払拭する意味においてあるいは安心を与える意味においても、この中でも来たる選挙には立候補される方があろうと思いますが、当然上位で当選されることを念願するものでございます。なお、できますればそういう地域間のいろんな懸念されるものを払拭する意味においても、バランスよく当選していただければさらにいいんじゃないかと、かようなものを私個人として念願するものでございます。

非常に時間長くなりまして申し訳ございません。以上でございます。

土井議長 どうもありがとうございました。

雄勝町の山下(三)委員。

山下(三)委員 私この合併協議会に入りましたときに、本当に一般町民として何も分からなくて、本当にどうしたらいいかなと思って最初のうちはずいぶん苦労しました

けれども、皆さんこういう立派な方たちの前でここ2年間やってきて自分なりに考えてきましたけれども、やはり私が生まれてきてから合併になったのが十五浜村のときに雄勝町、それから今回石巻市になって、一生のうちに2回もその時期を迎えることができまして、本当に最高のときだなと私は感謝しております。それで、人も段々減りまして雄勝町がどうなるのかなと思っていた矢先にこの合併ということを知りまして、それで17万都市ということで本当にこれからすばらしい石巻市ができるということを期待いたしまして、たくさんしゃべることはあるんですけども次の人を控えておりますのでこれくらいで、ありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。

それでは、次に桃生町の酒井委員。

酒井委員 あと半月あまりで新市誕生という運びになりましたこと、本当にうれしく思っております。これから新市誕生まであるいは誕生いたしましても、その道のりは胎動を繰り返しながらとこのように思っております。

桃生町は特に北のはずれでございますので、合併によって地盤沈下ができないように17万市民、1市6町均衡あるすばらしいまちができますように祈念するわけでありまして。これまでの道のりを振り返って本当に感無量でございます。これから新しい市長になられる方、そして新しい市議員になられる方、どうぞすばらしいまちづくりのために一層努力されますように祈念申し上げ、期待申し上げまして終わります。

土井議長 どうもありがとうございました。

桃生町の高橋（冠）委員。

高橋（冠）委員 今回28回の石巻地域合併協議会及び第2小委員会に参加させていただきまして、大変貴重な体験をさせていただきました。1市6町のそれぞれの事情を持って臨んだ合併論議、十人十色の意見が飛び交う中、1つの合併という終着駅に着くまでにはさまざまな難関があったわけでございます。

具体的に回想してみますと、私ども第2小委員会の委員長に就任した雄勝町の伊藤委員が議員の在任特例問題で委員を辞任したことをはじめ、河北町の合併協議会の離脱、さらには桃生の乱と揶揄された桃生町議会の廃置分合案の否決など、まさに危機的状態が幾度かあったわけでございますが、その都度、土井会長の巧みなリードと、なんといっても首長の方々をはじめとする各委員皆様方の1市6町の合併に対する強い思いと熱意、そして寛大な心が最終的には1つにまとまりここまでこぎつけられ

たものと思っており、合併を目前に感無量でございます。

また、途中から第2小委員会の委員長を引き受けられました武者委員の御尽力も見逃すわけにはまいりません。本当に大変御苦労様でございました。さらには、調印式のときに浅野県知事も申しておりましたが、事務局職員の方々、大変な御苦労があったことと思います。以前、役場職員としての私もその過重な労力と御努力身にしてみても伝わってまいりました。どうか新「石巻市」においてもこの経験を生かし、新しい石巻市発展のため御活躍を期待申し上げ、感想の一端とさせていただきます。

ありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、牡鹿町の萬代委員。

萬代委員 これまでの思いはいろいろございますがそれはそれといたしまして、これからのことなんですが、新しい市長、新しい市議会議員の方々に期待するところが大変大きいわけでございますが、市の職員の皆様にも現在の1市6町をよく見て仕事をしていたきたいと思えます。

以上でございます。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、牡鹿町の阿部（敏）委員。

阿部（敏）委員 この合併が市民のだれからも本当に良かったと言われるように、新市の建設計画等に基づきまして均衡ある施策を推進していただきたいと思えます。また、職員間の温度差をなくすといいますが、埋めるためにも人事交流というものを積極的に推進していただきたいと思えます。

以上でございます。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、北上町の武山（松）委員。

武山（松）委員 それでは簡単に申し上げます。この協議会の最大のメインテーマだったような気がしますが在任特例、そして紆余曲折ありましたけれども廃置分合、各市町の議員の方々の勇気ある決断があって今日があったというふうに思えます。敬意を表するものであります。

なお、今後の新市に期待するものは、私ども石巻市の市街地から34kmくらいございます遠隔地でございますけれども、現状後退なきことだけを期待して終わります。

ありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。

北上町の千葉（五）委員。

千葉（五）委員 私もこの1年間合併協議会に参加させていただきまして、本当に新しいまちが誕生するという非常に貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

過去のことはいろいろあるわけですが、やはりこれからの新市のまちづくりをどうするのかということ、これからスタートなんですけれども、話は早いんですけども新しい市議会の皆さんにですね、ここに立候補者はたくさんいるわけですが、私は単に古い町の、例えば北上町なら北上町の各町の代表者という考えだけでこの議論をして欲しくないなと思います。せっかくここで今新しいまちが誕生するわけですから、もっと今までの枠組みをはずした形で広い目で議論していただきたいなと思います。市議会議員立候補予定者の方々ですね、我が町の代表ということで皆さん出馬を考えていらっしゃるのかと思いますけれども、やはり私は我が町の代表ということじゃなくて、やはり新しいまちをどうしてつくるのかということですね、そういう観点からまず議論をお願いしたいなと思います。

終わります。

土井議長 ありがとうございました。

次に、河南町の今井委員。

今井委員 当初女性が1人ということで少し不安でしたが、無事に終わりを迎えることができました。一言ですが、1市6町の地域意識が新「石巻市」の発展という方向に向うことのみを願ってこの協議会を終わらせていただきたいと思いました。

ありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、河南町の大橋委員。

大橋委員 先程、北上町の委員もおっしゃいましたけれども、小委員会での在任特例を認めないで原則でやったというのはですね、これは大変画期的なことだったなというふうに思っております。そういった点で、議会代表の皆さんに感謝を申し上げたいと思っております。私は新市になりましたなら、やはり石巻市を中心とするというのはだれもが承知しているところだと思うんですけども、ぜひとも周辺町に配慮した行

政運営がなされることを期待して終わりたいと思います。

土井議長 ありがとうございます。

次に、河北町の小出委員。

小出委員 私の場合、合併協途中参加ということでいくら心残りもございます。しかし皆さんには真摯に受け入れていただきまして、このことに対しては感謝を申し上げます。新市においては、関係各位に地域差のない行政をとって、そしてすみずみまで行政の手を差し伸べて欲しいという願いでございます。限りない新「石巻市」の発展を御期待申し上げます。

以上です。

土井議長 ありがとうございます。

次に、河北町の渡邊委員。

渡邊委員 私は志を半ばにした方のピンチヒッターということで、終盤の会議4回に出席ただけでございますので特別な思いはございません。ただ、28回という議論の集大成が来月の1日に新「石巻市」として実践されることになりましたので、その成果に大きな期待をしながら一市民として見守っていきたいと考えております。

土井議長 ありがとうございます。

これで民間の委員の皆さんから御発言をいただきました。それでは、次に議員の方々に移らせていただきたいと思います。

まず、石巻市の松川委員。

松川委員 見本を示しますので議員の皆さん私のようにしていただければと。

10か月大変お世話になりました。ありがとうございます。合併の目的は、住民の心を心とするまちづくりであるとそのように思っております。そういうまちづくりがなされることを期待いたします。

以上でございます。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、石巻市の阿部（純）委員。

阿部（純）委員 とても短い感想でしたのでやりにくいんですが、本当に結果的にはこの故郷を思う気持ちみんな一緒だったんだなということです。一定の到達点を見出せたこと本当にうれしく思います。それから、これまでの議論を大切にしながら新市に向けて新しいグランドデザイン、議員あるいは首長だけでなしに当然のことながら

17万市民でしっかり作りあげていきたいというふうに思います。ありがとうございました。

土井議長 ありがとうございました。

次は、雄勝町の高橋（左）委員。

高橋（左）委員 法定代理人が退任するということに対しましては少々不安が残りますが、古い上着よさようならという大変革時代でございますから、いたし方がないと思っております。今はただ、新市民ともども青い山脈を目指して前進あるのみとこのように考えております。これからもひとつよろしくお願い申し上げます。

土井議長 ありがとうございました。

次は、雄勝町の藤本委員。

藤本委員 多分、ここのメンバーの方々だいたい当て職でこられた。市長ということで、町長ということで、議長ということでこられた方々で構成されましたが、実は私だけ立候補してきました。雄勝町議会で私にやらせてくれと言って立候補してきた経緯がありまして、本当に雄勝町の方の議長とぶつかることも多々あったかもしれません。

今度振り返りまして、この合併ははっきり言いましてこれが完結だとは私は思っておりません。やはり河南町議長の三浦委員の大演説を何回も聞かされ、私もその思いでありますし、やはり1市9町の将来の合併に向けてのこれがまず第一歩である。このあとの大同合併を本当に東松島市、女川町に向けていきたいなと思います。本当に思い起こすといろいろなことございましたがよく収まったなと、いろいろなことがあって感無量であります。また事務方、協議会以上に下の方で専門部会などで意見のぶつかり合い、地域エゴのぶつかりがかなりあったんだと思いますが、それを一本にまとめていただいた御努力に感謝を申し上げて、私の感想とさせていただきます。本当にありがとうございました。

土井議長 ありがとうございました。

次に、桃生町の若山委員。

若山委員 4月1日合併でございますけれども、17万新「石巻市」、県下第二の都市でございますが、それにふさわしいまちづくりになるように願っております。会長におかれましてはこの合併を本当にまとめていただきまして感謝いたします。これからも、今後新しい市のために責任を持って市長としてがんばっていただきたいとエール送りたいと思いますし、また市議会議員に立候補される皆様方におかれましては全員当

選されまして御活躍を願っております。どうもありがとうございます。

土井議長 どうもありがとうございました

次に、桃生町の西條委員。

西條委員 議長が触れてくれるのかなと期待しておりましたけれども、先程来皆様方から桃生町の合併特別委員会最後までしつこく在任特例を主張いたしました。さらに、廃置分合案を否決いたしまして合併協議会あるいは委員皆様方に大変な御心配をおかけいたしました。

しかし、これも桃生町議会として真剣にこの合併を考えすばらしい新市「石巻市」をつくりあげたいその一念であったということ、まず皆さんに御理解いただきたいと思っております。これからの新市「石巻市」が、1市6町の先人から今日までの皆様方が一生懸命がんばってすばらしい地域をつくっていただきました。その地域の良さを1つずつ吸い上げていただきまして、さらに伸ばしていただき、すばらしい新市「石巻市」になりますように、合併して良かったなど地域住民皆さんが感じるようなまちにぜひなっていただきたいということを心から念願いたしております。本当に長い間お世話様でございました。ありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました

次に、県の石垣委員。

石垣委員 今回の合併協議、本当に皆様御苦労様でございました。

私を感じましたのは、やはり住民の方々の合併に対する思いというのは非常に強い地域だったというふうに思います。おかげさまをもちまして4月1日に新市発足するわけですが、この住民の方々の思いにこたえるという役割がありますので、ぜひよろしく願いたいと思います。特に石巻市、県内第二の都市でございまして、石巻市のいろいろな地域づくりが本県の地域づくりに大きな影響を与えます。県といたしましても、これに対しては支援行ってまいりますのでぜひ立派な、そして一体感のあるまちづくりを進めていただきたいというふうに思います。

土井議長 ありがとうございました。

次に、松田委員。

松田委員 4月から前任者のあとを引継ぎまして、1年間市町村課という立場で協議会に参加をさせていただきました。私の担当は財政ということで、立場柄いろんな財政のような話を念頭におきながら委員として参加をさせていただきました。非常に地方

財政厳しい中ではございますけれども、皆様方の委員の方々の熱意がこれを払拭してくれるんじゃないかというふうに期待をしております。37人の委員の方、それから先程、事務事業の調整で2,000項目におよぶ膨大な量进行处理していただいた事務局の方々に厚く御礼を申し上げて、私の感想とさせていただきます。ありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、牡鹿町の遠藤委員。

遠藤委員 平成の大合併の協議会に参加できたことを、大変感慨深いものがございます。新市においても財政は厳しいと思いますが、ともすれば費用対効果だけがクローズアップされる嫌いがありますが、数字だけを重視することなく、ぜひ住民サイドに立って真に必要なサービスを低下することのないようにひとつお願いをしたいと思います。活力あるまちづくりのために、我々もできることは協力をしていきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。どうもありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、牡鹿町の渥美委員。

渥美委員 合併協議会の委員として合併に参画させていただいたことを誇りに思っております。また、合併協議会でもろもろのものを決めましたけれども、これをぜひ新市長、新市議会議員の皆様へ遂行していただきたいなと念願して御挨拶とします。

土井議長 ありがとうございました。

次に、北上町の武山（吉）委員。

武山（吉）委員 タベ小さな会議でございましたが会議がありまして、そこで少し力みすぎてこのように声が悪くなりました。風邪ではございません。

最後の合併協議会を迎えることができましたのも、会長をはじめお集まりの委員の皆さん方、そして事務局を務めていただきました木村事務局長をはじめ裏方の皆様方に心から御礼を申し上げまして終わります。大変お世話になりました。

土井議長 ありがとうございました。

次に、河南町の阿部（仁）委員。

阿部（仁）委員 皆さん大変お世話様でございました。大きな歴史の1ページで、皆さんと御一緒させていただきまして大変感謝をいたしております。皆さんとここでお話

し合いをいたしましたことをもとにいたしまして、これからも新しい市に向けましてなんらかの形でがんばっていきたいと思います。どうもありがとうございました。

土井議長 ありがとうございました。

次に、河南町の三浦委員。

三浦委員 私は、合併はもう一度この日本をつくり直さなければならぬんだと、その信念で取り組んでまいりました。そういう面からみれば、1市9町の合併が壊れたというのは大変残念であります。政治の原点は、なんといっても負担を軽くしてより多くの一人ひとりの保障を十二分にしてくれるというのが、私は政治で一番大切なことではないかなとも思っています。ですから、金のかからない努力をもっともっとやらねばならぬんだと。その第一歩がこの市町村合併なんだと、そう思っております。ですから、県も国もこれはもう一度つくり直さなければならぬんだと。ですから皆さん、ここまでまとめるまでに大変なエネルギーを消費しましたけれども、この力を次は県と国に向ってもともに歩むようにそうしていただきたいなと思います。私も全力で歩みたいと思っています。どうもありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、河北町の千葉（貞）委員。

千葉（貞）委員 河北町の千葉でございます。河北町は、一時合併協議会から離脱をいたしました。その後、河北町の合併の賛否を問う住民投票まで約5か月間、多くの町民の方々がこの合併についていろいろと勉強をさせていただきました。その結果を尊重し、再度協議会に加入を認めていただきました。1市5町の方々に大変御迷惑をおかけいたしましたけれども、本日をもってこの協議会が終了となります。いよいよ4月1日、人口17万を有する県内第二の都市として石巻市の発展に期待をするものであります。まもなく新市長あるいは議長が誕生するわけでございますけれども、職員の方々も、これまで市民の方々に掲げてまいりました新「石巻市」の将来像あるいは基本方針、基本計画等について堅持しながら、市民の方々が将来にわたって合併して良かったなというような石巻市に期待をいたすものでございます。大変お世話様でございました。

土井議長 ありがとうございました。

次に、河北町の神山委員。

神山委員 大変長い間ありがとうございました。特に任意協、法定協をつうじてその軌

跡と軌道は、私個人的に考えた場合にはいくらか時間が足らなかったのかなという課題が、先送りにせざるを得なかったということも感じとして持っております。ただ期間をつうじて、先程私どもの議会の千葉（貞）委員が申し上げましたとおり、住民の意識高揚には非常に役に立ったのかなという思いがいたします。ただ、そういう質疑なり意見の中でこれはやはりやむを得ないのかなと。今までの旧町の、旧市のまちづくりのアイデンティティの差異が本協議会の中でのいろんな意見になったのかなとそういう思いがしております。そういう協議会から得られたものといましては、今後はものの考え方、ものの見方というものはやはり今度の平成の大改革の中では、ゆったり、ゆっくり、豊かなハイからローへのスローライフなまちづくりにせざるを得ないのかなという考え方を持っておりますので、新市においてもあせらずに良いまちをつくることに専念していただければ幸いとこのように思っております。特に合併事務局の精度の高さに対しては、特段の敬意をもって感謝を申し上げます。新市においてもそのより高からんことをお願いして、私のあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

土井議長 ありがとうございました。

それでは、最後に首長の方々からお願いをいたします。桃生町長の平塚委員お願いします。

平塚委員 どうもお世話様でした。よくこの事務連絡というのを見ないで来ましたので、心構え持たないできました。皆さん本当に立派な御挨拶で、ここに来て皆さんのお話を聞いていると、女々しい挨拶しか出てきません。

実は、手前ども昨日閉庁式ございました。昭和30年3月に、2か村合併で桃生町が誕生したということで、50周年閉庁記念式典ということです。いよいよ私、幕引き町長になりました。この合併協に臨むについて非常にプレッシャーといいますが、責任をそういうことで感じました。しかしですね、小異を捨てて大同につくということの成果がこの1市6町の新市「石巻市」誕生に繋がったのでないかなと思います。お互い大きな犠牲を払ってのこの合併ではないかなと思います。それだけに、この21世紀はじまったばかりでございます。初頭でありますので、この合併の意義を我々おそらく21世紀の終わりまで生きている人いないわけでありますので、次世代を担う若者、青少年の子どもたちにこの合併の意義を、学校の教育現場、桃生町の方では子どもたちに合併に際しての桃生町の好きなおところというようなことで、合併に際して作文を

公募して書いてもらったわけですが、この合併ということについてのいろんな町の思い出等をいろいろ書いて、合併の意義をよく知らしめるといいますか、できるだけアピールしたわけですが、そういうあれも必要ではないかなと思いますので、私の提言もしまして、私は全然先行き心配はしておりません。そういうことで、新市の輝く未来のためにいうことを最後に使わせていただいて終わります。大変お世話様でした。

土井議長 ありがとうございます。

次は、牡鹿町長の木村委員お願いします。

木村委員 この委員の中にですね、新しい市長の立候補予定者として1名、市議会議員の立候補予定者として7～8名の方がいるように思われます。こういう方々にぜひ全員がんばっていただいて、いろいろ今まで協議されたことをあまり変えないで新市の運営に実行していただきたいとお願いをしたいと思います。

それから、首長として合併を積極的に進めてきたんでございますが、その結果私は3月31日で失職するわけでございますが、この点は大変残念でございます。そういう思いでございます。皆さん大変長い間ありがとうございます。

土井議長 ありがとうございます。

次に、北上町長の佐藤（健）委員お願いします。

佐藤（健）委員 長い間委員の方々には本当にお世話になり、そして本当に心から委員の皆さんの熱い熱意が今日の日を迎えたものと思います。やはり、そういう皆さんに感謝を申し上げますとともに、また裏方であります事務方が本当に苦勞をしたのかなという思いで心から感謝を申し上げます。

やはり、私も町長として一抹の寂しさはありますけれども、新市に託する気持ちも大きいものがございます。私、先般6日に閉庁式がありましたが、やはり町旗を下ろすときは本当にこれで良かったのかなと、今桃生町長の平塚委員が言いましたけれども自分がこの町を、昭和30年に合併しまして、特に北上町は桃生郡の端と本吉郡の端が合併したものですから、そういう中での町を本当に簡単に閉じていいのかなという思いもいたしました。しかしながら、その思いはむしろ新市へ託す、そしてまたこれからの新市は宮城県の第二の都市でございますけれども過疎市でございます。やはり過疎債を上手に使いましてこの5年間の中でですね、今そこにおりますけれども専門家おられますからひとついろいろな面でそれを使い、そして本当に早く市民を安心させるそういう政策をもっていただきたいと思いますので、どうかひとつその点をよろし

くお願い申し上げまして、私からの心からの感謝を申し上げます。

土井議長 どうもありがとうございました。

次に、河南町長の橋浦委員お願いします。

橋浦委員 本当にお世話様でございました。まず、事務局のスタッフの方々大変だったということ、これはまず最初に御苦労様でしたと私は言いたいのでございます。それからもう1つ、河南町議会議長の三浦委員が言ったように1市9町で我々は掲げてまいりましたがこれは残念だったなど。ただ問題は、その課題はなんだったかというのは皆でこれからも考えていかなければならないと思います。それから3つ目は、やはり新しい市になったならば、今はやり言葉は住民参加型のまちづくりでございます。まちづくり計画にございますそれを軸としながら、いいまちというものを我々も側面から応援したいなとそういうふうには思っています。大変ありがとうございました。

土井議長 ありがとうございました。

次に、河北町長の太田委員お願いします。

太田委員 まずもって、本合併にあたりまして情熱を傾けられまして御尽力いただきました会長であります土井石巻市長、そして事務局皆様方に心から厚く御礼を申し上げます。

河北町は、途中紆余曲折がございまして御迷惑をおかけした期間もございましたが、快く御理解をいただき今日を迎えることができました。この合併が、未来に夢の架け橋になるようなそんな新市の姿になることを期待をいたしておるところでございます。一言だけ付け加えさせていただきますれば、最澄の言葉に、一隅を照らすものこれ国宝なりという言葉がございまして。17万都市になっても、目の届きにくいところあるいは小さいところ、それらもすっきりと気配りをするような新市であって欲しいなと希望いたします。本当にありがとうございました。お世話になりました。

土井議長 どうもありがとうございました。

それでは、最後に雄勝町長の山下（壽）委員お願いします。

山下（壽）委員 今日でこの合併協議会も終了ということで、大変寂しい気もいたしますけれども、これまたこの2年、3年間、準備会からはじめていろいろと委員の方々に御討議をいただいた、その態勢が整って新市に向って出発するということになりました。一人ひとりのお話を聞いて、本当にこの合併というものは無駄じゃなくて、新しい市のあるいは市民のためにやるものだということを再認識をしているところ

でございます。皆様のいろいろな御推挙によりまして、新市長が誕生するまでその職務の執行をするというものに指名されまして、本当に光栄でございます。新市長が誕生するまでは、皆様方からいろいろな意見がありましたそれを胸にですね、地域格差のないそして平等な石巻市、そして17万の市民が胸を張って県下第二の都市として宮城県の均衡ある発展のために尽くせるような姿勢をぜひお願いをしたいとこういふ思いでございます。今までいろいろお世話になりましたけれども、皆様方から寄せられました御好意に感謝をしながら、新市長が誕生するまでしっかり守っていきたくてこのように思っておりますので、今後ともひとつよろしくお願いを申し上げたいと思います。

そしてまた、事務局の皆さん本当に御苦労様ございました。これからが本当にあと半月と申しますか、残された時間でまだまだ調整不十分なところ、そしてまた課題になっているところもあるようでございますので、なお一層のひとつ御努力をお願いを申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。委員の皆さんそれぞれの思いを、心のうちをお話をしていただきましてありがとうございました。これで議事の一切を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(武山(松)委員 挙手)

土井議長 はい、武山(松)委員。

武山(松)委員 北上町議会議長の佐藤(功)委員からメッセージを預かりましたので、代読させていただきます。

本日、石巻地域合併協議会最終日となりましたが、親戚の葬儀のため早退いたすことになりはなはだ残念です。振り返りますとこの一年間、合併協の副会長として自分なりに土井会長を補佐してまいりました。皆様方も一抹の未練もございましょうが、皆様で力を合わせ新市発展のため御尽力されれば、立派な新市が誕生することと確信いたしております。

最後に、皆様方のこれまでの御苦労と今後の益々の御繁栄と御健勝をお祈りいたします。平成17年3月14日、佐藤 功。代読。ありがとうございました。

土井議長 どうもありがとうございました。

司会 ここで閉会にあたりまして、土井会長から御挨拶を申し上げます。

土井議長 それでは一言挨拶をさせていただきます。

ただいま、各委員の皆さんからこれまでの合併協議に関する御感想あるいは新市への思い、それぞれお話をさせていただきましたが、閉会にあたりまして協議会会長として一言御挨拶をさせていただきます。

まず委員の皆さん、一昨年7月から本日までの長きにわたり、石巻地域1市6町の合併協議に多大なる御尽力と御協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げる次第でございます。本当に御苦労様でございました。

おかげさまでこれまでの熱心かつ真摯な協議が見事に実を結び、4月1日には1市6町の歴史的な合併が成就する運びになりました。もとより、ここまでの道のりは決して平坦な道ばかりではなく、さまざまな課題や問題も数多くあったところでございます。しかしながら、さまざまな課題や問題が発生するたびに多くの住民の方々の御支援や御協力をいただきながら、とりわけ委員の皆様への合併にかける熱い思いによりまして、一つひとつ課題を乗り越えることができました。また、忘れてならないのは事務方の皆さんのここまでのがんばりです。2,000にも及ぶ事務事業の調整は並大抵のことではなかったでしょう。今は、新市誕生の準備で大変な苦労をされています。幹事会の皆さん、各専門部会や分科会の皆さん、そして合併協議に携わっているすべての職員の皆さんに対しても、私は心から感謝と敬意を表する次第でございます。

今まさに歴史的な大偉業が成し遂げられ、合併協議はゴールを迎えますが、これは同時に、新「石巻市」のスタートをも意味するところでございます。昨今の地方自治体を取り巻く状況を考えますと、新市の道のりも決して平坦なものではないと思えます。さまざまな課題を抱えつつも、多くの住民の方々は新「石巻市」に大きな期待と希望を寄せております。新市の将来像にある「笑顔と自然あふれる元気なまち」を創っていくためには、これからもさまざまな課題を解決しながら一步一步着実に新たな足跡を刻んでいく必要がございます。委員の皆様におかれましては、どうか新「石巻市」の輝かしい未来を実現するために、新市に対する御支援、御協力を引き続き賜りますよう、切にお願いを申し上げます。

最後に、皆様本当によくここまで合併協議に取り組んでいただきました。皆様の合併への熱き思いが、この世紀の大偉業を成し遂げる原動力になりました。ここに、協議会委員の皆様をはじめ、合併協議に携わっていただきました各市町議会の議員の皆様方、そして1市6町の住民の皆様に対しまして心から感謝と敬意をささげ、私から最後の御挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

6 . 閉会

司会 以上をもちまして石巻地域合併協議会の一切を終了させていただきます。
大変ありがとうございました。

上記会議の経過は事務局長木村耕二の調製したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

平成17年 3月30日

石巻地域合併協議会

署名委員 三 浦 總 吉

署名委員 武 者 賢 三